

「HySUT水素ハイウェイプロジェクト」における「東京・杉並水素ステーション」が開所

～水素供給インフラ・燃料電池自動車の普及に向けた実証事業へ参加～

記者各位

当社(社長:木村 康)は、水素供給・利用技術研究組合(理事長:吉田正寛、以下「HySUT(ハイサット)」という。)が、経済産業省の「水素利用社会システム構築実証事業」の支援において実施する「水素ハイウェイプロジェクト」に参画しておりますが、2010年12月15日に、当社が建設・運用を担う「東京・杉並水素ステーション」を開所しますのでお知らせいたします。

「水素ハイウェイプロジェクト」では、本ステーションの他、「羽田水素ステーション」(オンサイト型)、「成田水素ステーション」(オフサイト型)の3つの水素ステーションを新たに建設し、都心と羽田空港/成田空港間において、我が国初となる燃料電池自動車(バス、ハイヤー)の高速道路経由での定期運行を行います。

燃料電池自動車は、従前の内燃機関に比べて高効率で、二酸化炭素の排出量を大きく低減することが可能な技術であり、将来の低炭素社会構築に重要な役割を果たすものとして期待されています。

「東京・杉並水素ステーション」では、製油所などで製造した高圧水素ガスを水素カードルで運ぶオフサイト型の水素供給方式を採用し、水素供給インフラ網整備に向けた実証を行います。

当社は、本プロジェクトへの参加を通じた水素供給事業の基盤確立に努めるとともに、家庭用燃料電池の普及推進などにより、水素エネルギーによる持続可能な低炭素社会の実現に貢献してまいります。

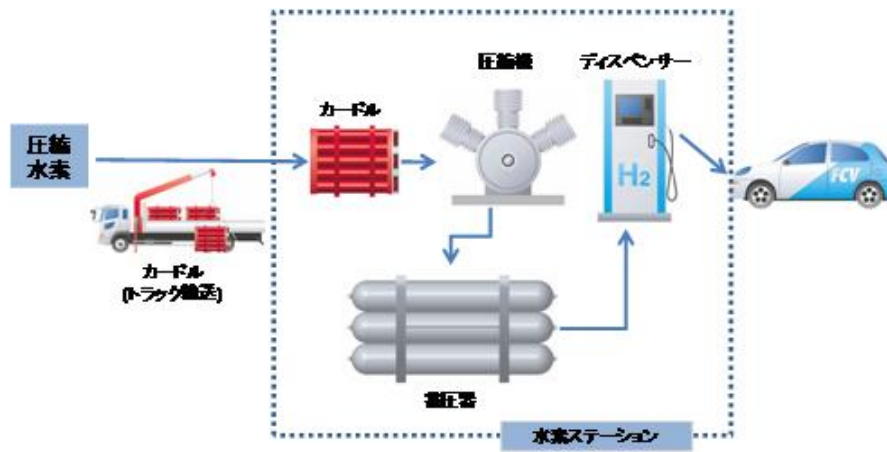
【東京・杉並水素ステーションのイメージ図】



【東京・杉並水素ステーションの概要】

建設、運用	JX日鉱日石エネルギー株式会社	蓄ガス設備	内容積	300L×12本
所在地	東京都杉並区宮前1-17-10		圧力	40MPa
水素供給方式	水素カードル供給によるオフサイト型	充填圧力		35MPa
主要構成機器	水素受け入れユニット、圧縮機、蓄圧ユニット、ディスペンサー	圧縮設備	能力	50Nm ³ /hr
			圧力	40MPa

【システムフロー図】



以上

添付資料1 : 「水素供給・利用技術研究組合」の概要

添付資料2 : 「水素ハイウェイプロジェクト」の概要

添付資料3 : JXエネルギーにおける燃料電池・水素エネルギー関連の取り組み

● 別添資料

[「水素供給・利用技術研究組合 \(HySUT\)」の概要 \(PDF:80.2 KB/1ページ\)](#)

[「水素ハイウェイプロジェクト」の概要 \(PDF:125.6 KB/1ページ\)](#)

[JX日鉱日石エネルギーにおける燃料電池・水素エネルギー関連の取り組み \(PDF:128.9 KB/2ページ\)](#)